
知りたい(ジャン・リー×レイファン)

枯葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

知りたい（ジャン・リー×レイファン）

【Nコード】

N1479B

【作者名】

枯葉

【あらすじ】

ジャンレイSSです。この二人は王道ですね！このSSではレイファン ジャン・リーって感じてましたが、他のラブラブ話も書きたいですねー。

DOA大会終了後、

レイファンは次の大会まで普通の大学生生活を楽しんでいたのだが、ある日の夜、

彼女は遠縁の親戚の家で開かれるパーティに、両親と共に招待された。

レイファンの家は裕福で知り合いもそれなりの著名人揃いだったので、

今回のパーティも結構な人数が参加するのだった。

その会場で、彼女は親戚のおじ様（小さい頃から何度か遊びに来ていた）

と一緒にいる、よく見知った顔に出くわした。

「あら」

父の友人に軽く挨拶した後、わざと彼の目につくように前へ出る。

彼は暴漢に絡まれた自分を救ってくれたと同時に圧倒的強さを見せ付け、

以来自らの倒すべき目標となったジークンドーの使い手、ジャン・リーだった。

ただ、着ている物はいつもの拳法着と違ってスーツだったが。

「こんにちは」

美しく着飾った彼女を見ても、彼は全く表情を動かさない。

傲慢じゃないけれど、

自分が側を通り過ぎると誰もが振り返ったって言うのに。

「何だ君、レイと知り合いなのかね？」

「いえ。では、俺は外を見張ってますから」

そう言っですたすたと外へ行ってしまった。

「ちよっ！あっ・・・」

大声を出しかけて慌てて口をつぐむ。

ちらつと両親の方を見ると、それぞれ誰か他の人達と話している。レイファンは父の友人にまた挨拶をして、慌てて彼の後を追った。「待ちなさいってば!」

怒気を含んだ声に、ジャン・リーはまたか、と言う顔をする。

「・・・何故、お前がここにいる」

「あの方、私の親戚よ。父に連れられて私もこの家に何度か遊びに来たわ。」

まさかドラゴあ、失礼、あなたがおじ様に雇われているなんて、すごい偶然」

「・・・」

「それよりさっきの態度は何?」

「お前とは、手合わせをした事実しかない」

淡々とジャン・リーが答える。

「そりゃ!...そうね」

「用はそれだけか。」

「・・・」

「他に用が無いなら行け」

「用が無いといけないって言うの?」

ジャン・リーは眉を顰めた。

何だかんだ言つて、彼女は自分の前からテコでも動きそうにない。ならば自分が動いた方がいいと判断し、彼女の側を通り過ぎる。

「嘘っ...」

だが彼は無言のまま、振り返る事もなく去って行った。

レイファンは心の中に今までの、彼と戦って勝ちたいと言う思いとはまた違う、

激しい気持ちが始まり上がって来るのを感じた。

それは彼の心に触れたい、彼をもっと知りたい、振り向かせたいと言う情熱だった。

あれほど人を寄せ付けないのは、他人に無関心なのは何故なのか。

「いいわ、やってやろうじゃない」
レイファンは一人で呟いた。
私は負けないわ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1479b/>

知りたい(ジャン・リー×レイファン)

2010年10月22日00時11分発行